



# 株主・投資家の皆様へ 株主通信

2019年3月期通期のご報告

2018年4月1日～2019年3月31日

パーソルホールディングス  
(証券コード：2181)



# はたらいて、笑おう。



東京都港区南青山1-15-5 パーソル南青山ビル TEL 03-3375-2220(代表)

※本報告書に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。

表紙に登場している人物はすべてパーソルグループの社員です(2019年3月時点)

## 株式に関するお手続きについて

### 証券会社などの口座に記録された株式

#### ■お手続き、ご照会などの内容

- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問合せ

#### ■お問合せ先

株主名簿  
管理人  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1  
TEL 0120-232-711(通話料無料)

- 住所・氏名変更などの上記以外のお手続き、ご照会

口座を開設されている証券会社などにお問合せください。

### 特別口座に記録された株式

#### ■お手続き、ご照会などの内容

- 特別口座から一般口座への振替請求
- 住所・氏名などのご変更
- 特別口座の残高照会
- 配当金の受領方法の指定(※)

#### ■お問合せ先

特別口座  
口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1  
TEL 0120-232-711(通話料無料)

- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問合せ

株主名簿  
管理人

#### [手続き書類のご請求方法]

○インターネットによるダウンロード ▶ <https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はご選べません。



2014年8月:JPX日経インデックス400の構成銘柄へ選定されました。

JPX日経400とは?

日本企業の魅力を内外にアピールすることなどを目的に、資本の効率的活用や投資家を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした会社で構成される新しい株価指数です。



この印刷物は「FSC®認証紙」と「植物油インキ」を使用しています。





## はたらいて、笑おう。

PROFILE  
代表取締役社長 CEO  
水田 正道

1988年テンプスタッフ(現パーソルテンプスタッフ)入社。  
1995年取締役営業本部長、2006年常務取締役東日本営業本部長、  
2010年取締役副社長、2012年代表取締役副社長に就任。一貫して営業部門を担当。  
2013年代表取締役社長就任。日本人材派遣協会会長、人材サービス産業協会理事長を歴任。  
座右の銘は積小為大。

### 当期の概況

世界経済の不確実性の高まりを受け国内においても先行き不透明感が広がりはじめていますが、人材サービス市場においては構造的な労働力不足を背景に引き続き需要は堅調に推移しました。こうした市場環境のもと当社グループは、主力事業の人材派遣や人材紹介、海外のPERSONNELLY事業が業績を牽引した結果、当期の売上高は9,258億円、営業利益は441億円となりました。

当期は、派遣・BPOセグメントのパーソルテンプスタッフが株式会社アヴァンティスタッフの株式を取得し子会社化しました。アヴァンティスタッフはみずほグループ・丸紅グループを中心に顧客基盤を有し、金融事務や貿易事務などの分野におけるノウハウを強みとする人材会社です。パーソルテンプスタッフの求職者の集客ノウハウや経営基盤との融合により、さらなる企業価値の向上を目指します。

### テクノロジーを活用し、「人」の介在価値を追求しよう。

テクノロジーの進化は、人材ビジネスを根幹から変える可能性を秘めています。私たちはテクノロジーの積極的な活用により、マッチングの精度向上など既存事業の更なる成長を追求する一方で、10年、20年先を見据えた新たな価値の創造にも挑戦していきたいと考えます。2019年4月、次世代の柱となる事業の創造とイノベーション開発の推進を担うための新会社・パーソルイノベーションを設立しました。新規事業の育成や既存事業の変革をこれまで以上に効率的に推進し、スタートアップ企業に劣らないスピードでの事業開発を目指します。

しかし、どんなにテクノロジーが進化しても、「人」にしかサポートできない側面も大きいのが人材ビジネス

です。働く人と企業の「相性」を押し量ったり、気持ちに寄り添ったアドバイスをしたりできるのはやはり「人」です。私たちはこれからも「人」の魅力を高め、「人」が介在することの価値を追求し続けます。

**あらゆる人々が、  
「はたらいて、笑おう。」を  
体現する社会へ。**

変化の激しい時代に企業が成長を続け

ていくためには、新しい価値を生み出す創造性や変化に対応する柔軟性が欠かせません。その源泉となるのがメンバーの「多様性」であると考えます。パーソルグループは「Diversity, Inclusion & Equality(DI&E)」\*を通じて、グループ社員の多様性を尊重し、多様な働き方の推進、多様なキャリアパスの支援に取り組みはじめています。その一環として、2019年4月には「複業解禁」「フレキシブルワークの制度化」などをスタートしました。人材ビジネスを担う私たちが自ら率先して多様性のある働き方を実践していくことで、企業と働く人にとっての良いいロールモデルになりたい。そんな想いが取り組みの背景にはあります。パーソルグループはこれからも、働く人の多様性を尊重し、一人ひとりの活躍を支援することで、すべての人たちが「はたらいて、笑おう。」を体現できる社会の実現を目指します。

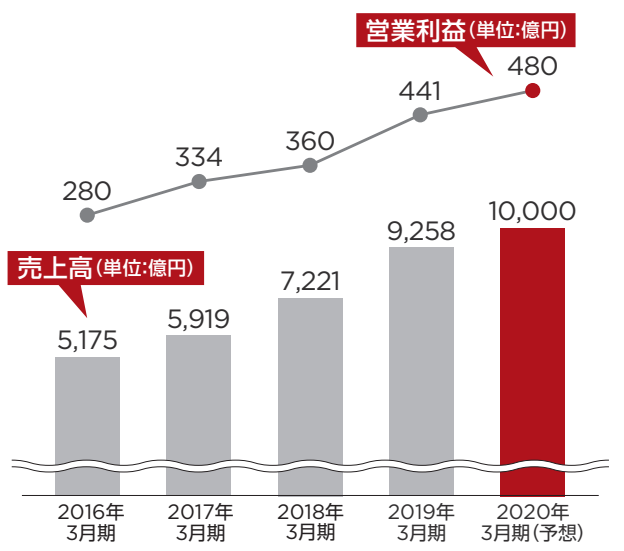
\* Diversity(ダイバーシティ):多様性。雇用の機会均等、多様な働き方。  
Inclusion(インクルージョン):包括・包含。個々を尊重すること。  
Equality(イクオリティ):等しいこと・同等・平等・対等。権利や利益が等しくあること。

### 業績ハイライト

《2019年3月期 連結業績》

#### 売上高・営業利益とも 過去最高実績を更新

売上高 <b>9,258億円</b> 前年比 <b>28.2%増</b>	営業利益 <b>441億円</b> 前年比 <b>22.3%増</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益 <b>243億円</b> 前年比 <b>213.5%増</b>	1株当たり 期末配当金 <b>15円</b>



パーソルグループでは働き方の常識や採用ニーズの変化とともに、  
新規事業創出への取り組みを加速。さらなる成長の実現を目指し、新サービスを始動しています。

## シェアフル

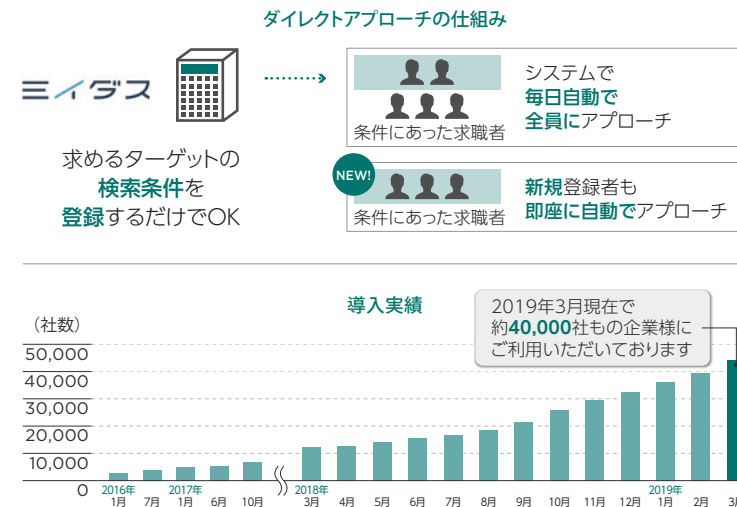
ライフプランが多様化する中で、「はたらく」のあり方は大きく変わりつつあります。個人が1つの会社で働き続けることが当たり前でなくなり、それぞれの生き方にあった働き方の実現と、日本全体での労働力の共有が求められています。こうした背景を受け、パーソルグループでは短期間・短時間の仕事に特化し、柔軟な働き方を望む個人と必要な時に必要な分だけ人材を活用したい企業をつなぐオンデマンドマッチングプラットフォーム「シェアフル」を始動しました。シェアフルは「スキマ時間を価値に変える」を掲げ、雇用形態や世の中の慣習に縛られず、多様な働き方を選択できる社会を目指します。



## ミイダス



「ミイダス」は、効率よくいい人材を確保したい企業様のニーズにお応えし、パーソルグループが開発した新しい中途採用プラットフォームです。効率的かつ低コストで求職者にダイレクトアプローチが可能。企業と求職者双方の工数を削減する充実のサポート内容を備えています。2019年3月時点で求職者登録数は25万人を超え、大手から中小・ベンチャーまで、40,000社以上の企業様にご利用いただいています。また、5月にはコンピテンシーやパーソナリティを診断するミイダス適性チェックをベースにした、マッチング機能を新たにリリース。従来の職務経歴やスキル情報に加えて、新しい切り口でのマッチングを実現します。



### 新CM発表会の様子



内村さんのメッセンジャー就任を記念して、高橋副社長より巨大名刺を贈呈!

「一緒に働きたくなる人はどんな人ですか?」等、パーソルグループ内定者が興味津々の様子で内村さんに質問



TV・CMでは、各サービスブランド名やついマネしたくなる「ニッポンの人事部長」ポーズが印象的



本CMIは、こちらのQRコードからご覧いただけます

※「理想の上司」アンケート調査(明治安田生命調べ)で3年連続ランキング1位

2016年7月のパーソルブランド誕生以来、私たちは「はたらいて、笑おう。」というスローガンを掲げ、あらゆる働く人に寄り添うブランドでありたいということを、広く世の中に発信してきました。

今回のプロモーションでは、国民的な理想の上司としてのイメージがある内村光良さん\*がメッセンジャーとして出演。国内最大級の総合人材サービス企業として、この国の「はたらく」のぜんぶを支える、まさに「ニッポンの人事部長」のような存在でありたい、という思いを強く伝える内容となっています。

よりサービスへの理解を伴ったブランドの認知向上を目的に、人材派遣の「テンプスタッフ」、アルバイトの「an」、転職の「doda」をはじめ、ITアウトソーシングや設計開発にいたるまで、パーソルグループが国内外の幅広いサービス領域でお客さまに貢献していきたいということを発信していくとともに、より「層」はたらい、笑おう。」の実現に向けて邁進していきます。

よりサービスへの理解を伴ったブランドの認知向上を目的に、人材派遣の「テンプスタッフ」、アルバイトの「an」、転職の「doda」をはじめ、ITアウトソーシングや設計開発にいたるまで、パーソルグループが国内外の幅広いサービス領域でお客さまに貢献していきたいということを発信していくとともに、より「層」はたらい、笑おう。」の実現に向けて邁進していきます。



テンプスタッフ an doda

「ニッポンの人事部長 PERSOL」が日本の「はたらく」のぜんぶを支えます

新広告キャンペーン「ニッポンの人事部長 PERSOL」  
4月よりスタート!

## Diversity, Inclusion & Equality

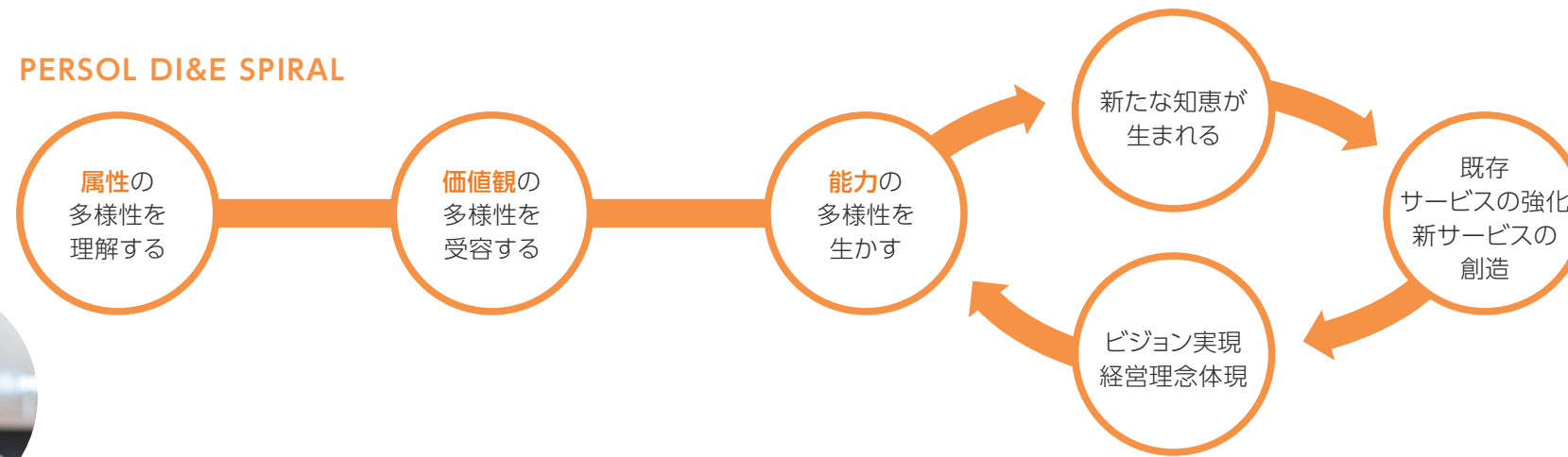
### 「違い」を、未来の可能性に。 パーソルが多様性に挑戦する理由

パーソルグループでは、「Diversity, Inclusion & Equality(ダイバーシティ、インクルージョン & イクオリティ(以下DI&E))」として、多様な働き方の推進や多様なキャリアパス支援の取り組みを、2019年4月から順次開始しています。

### パーソルのDI&Eが生まれた背景

パーソルではこれまでも業容拡大による人員増強や、グループ内公募制度「キャリアチャレンジ」等によるグループ間の人材交流等が盛んですが、さまざまな価値観を持つメンバーの気持ちや考え方、立場を理解し受け容れる風土があつてこそ、一人ひとりの力がより発揮されると考えています。「はたらいて、笑おう。」をブランドタグラインに掲げる当社では、多様性を受容し、さまざまな方が活躍できる組織づくりに挑戦したいと考えました。

#### PERSOL DI&E SPIRAL



### PERSOL DI&E SPIRALとは？

パーソルグループでは多様性を「属性」「価値観」「能力」の3つの観点で考えています。私たちには性別・年齢・国籍など、さまざまな「属性」の違いがあり、まずはそれをしっかり知ることを出発点に置いています。そのうえで、人生観・家族観・キャリア観といった「価値観」の違いをお互いに理解しあい、自分とは異なる部分も受け容れ、個々が最大限に輝ける環境をつくっていきます。そのような環境のもと、それぞれが持つ知識・スキル・感性・経験などの「能力」を伸ばし生かしあつていくと、これまでになかったアイデアや知恵が生まれ、それが既存サービスのあり方を変えたり新しいサービスの創造につながると考えています。その一つひとつでグループビジョンを体現し、能力の多様性のシナジーを強化、加速させ、ポジティブな循環が生まれる企業文化をつくっていきたくと考えています。

#### 〈DI&Eの考え方に基づく取り組み事例〉



**「複業」制度の導入**  
自己成長や経験・価値観・スキルの社会還元などを目的に実施



**フレキシブルワークの推進**  
フレックス勤務など、柔軟な働き方を可能にする制度の導入

### 社会に対して、いまパーソルができること

パーソルグループの人事ポリシーでは、HR領域の先進的事例を生み出していくという意味の「ADVANCED HR SHOW CASE」を掲げています。さまざまな方が活躍できる社会の実現のため、まずは当社が率先して行動し、その中で成功したことや苦労したことをお客様や世の中にお伝えして、少しずつ世界に広めていきたいと考えています。

「Diversity, Inclusion & Equality」の考え方に基づく取り組みは、右記QRコードにてさらに詳しくご紹介しています。ぜひご覧ください。

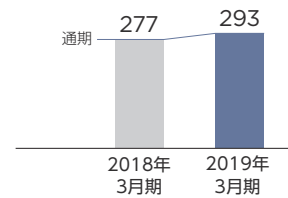


## エンジニアリング

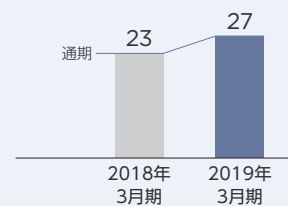
セグメント

自動車や建機関連を中心とした良好な開発需要を背景に、顧客企業からの受注が堅調に推移した結果、売上高は293億円となりました。利益面においては、堅調な受注に支えられ、営業利益は27億円となりました。

売上高 **5.6%増**  
(単位:億円)



営業利益 **16.8%増**  
(単位:億円)

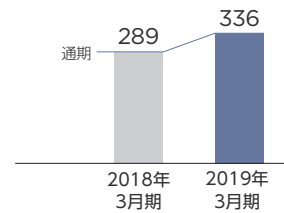


## ITO

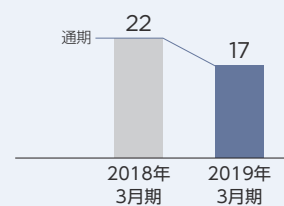
セグメント

企業のシステム投資の増加等、旺盛な需要に対して技術者の採用を進めた結果、売上高は336億円と伸長しました。利益面においては、待遇改善や積極的な事業拡大に伴う費用増加等により、営業利益は17億円となりました。

売上高 **16.1%増**  
(単位:億円)



営業利益 **24.8%減**  
(単位:億円)

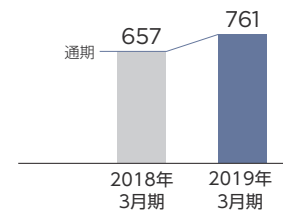


## PERSOLKELLY

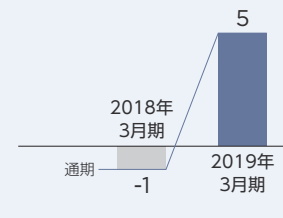
セグメント

APACの活発な市場環境に対し積極的な営業体制の拡充を行った結果、売上高は761億円と伸長しました。利益面においては、体制整備に伴う人件費増加等があった一方で、人材紹介を中心としたサービスが伸長した結果、営業利益は5億円となりました。

売上高 **15.7%増**  
(単位:億円)



営業利益 **388.6%増**  
(単位:億円)

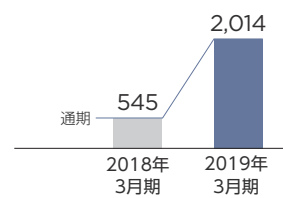


## PROGRAMMED

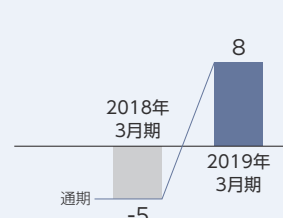
セグメント

スタッフィング事業における競合環境の変化による既存顧客からの受注減少があった一方で、空港や大学関連施設の案件寄与により、売上高は2,014億円となりました。利益面においては、オペレーションコストの削減を行った結果、営業利益は8億円となりました。

売上高  
(単位:億円)



営業利益  
(単位:億円)

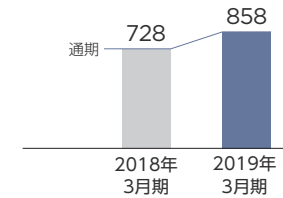


## リクルーティング

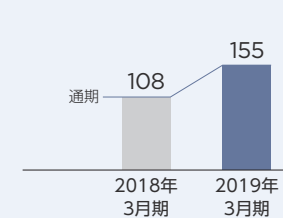
セグメント

旺盛な人材ニーズを背景に、主に人材紹介において成約数が増加したこと等により、売上高は858億円と伸長しました。利益面では、「doda」リブランディングに伴うマーケティング費用の投下、また人員投資等の営業体制強化を図った一方で、人材紹介を中心とした売上高の伸長による増収効果が上回った結果、営業利益は155億円と大幅に伸長しました。

売上高 **17.8%増**  
(単位:億円)



営業利益 **43.9%増**  
(単位:億円)

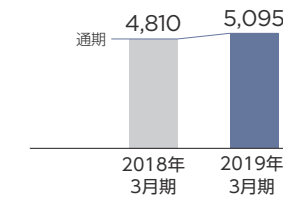


## 派遣・BPO

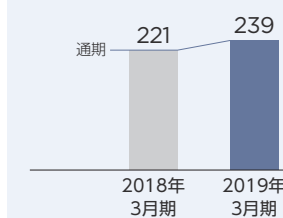
セグメント

好調な企業業績と構造的な人手不足を背景に需要は堅調に推移し、売上高は5,095億円と伸長しました。利益面においては、子会社統合に伴う費用増加があった一方で、法改正の影響に伴う顧客企業の直接雇用化により紹介手数料が増加し、また販管費等のコストコントロールを行った結果、営業利益は239億円となりました。

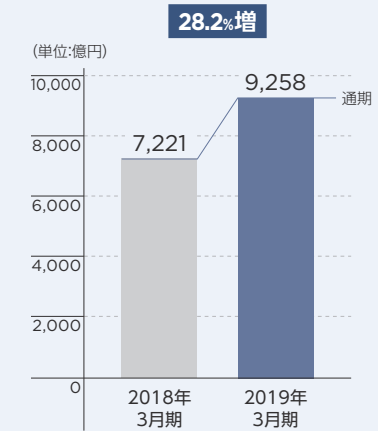
売上高 **5.9%増**  
(単位:億円)



営業利益 **8.5%増**  
(単位:億円)

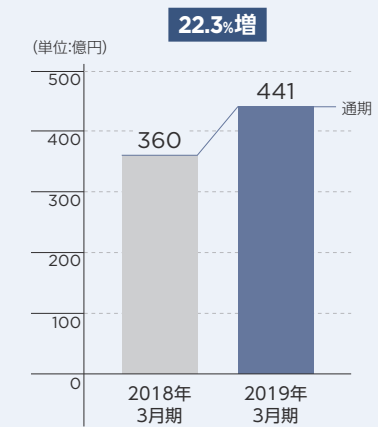


## 売上高



日本経済が穏やかな成長基調となる中、人手不足を背景に多くの需要が寄せられ、人材サービス市場は、総じて堅調に推移しました。当社グループにおいては、各事業とも概ね堅調に伸長し、特に人材紹介の成約数が大きく伸長しました。また海外事業においても、APAC各国の好調な市場環境を背景に、PERSOLKELLYセグメントが順調に成長し、併せてPROGRAMMEDセグメントが加入した結果、2019年3月期の売上高は、9,258億円(前年比28.2%増)となりました。

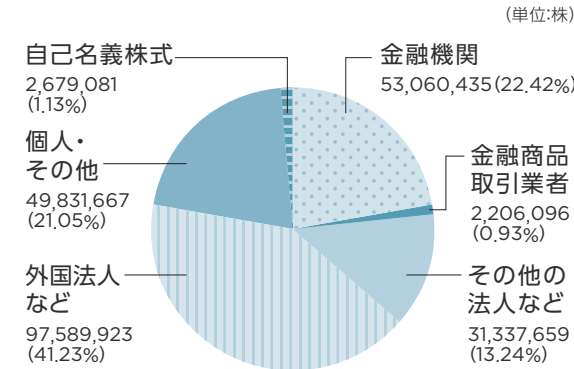
## 営業利益



派遣・BPOセグメントにおける子会社統合等、グループ一体化に向けた費用増がありました。派遣・BPOセグメントにおいて生産性や請求単価の向上を進め、またリクルートセグメントおよびPERSOLKELLYセグメントにおいて、利益率の高い人材紹介事業が伸長した結果、営業利益は、441億円(前年比22.3%増)となりました。

株式所有者別分布状況

(2019年3月31日現在)



※持株比率(%)は小数点第3位を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月下旬	
基準日	定時株主総会	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
	TEL	0120-232-711(通話料無料)
	URL	<a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)	
公告方法	電子公告 公告掲載URL	<a href="https://www.persol-group.co.jp">https://www.persol-group.co.jp</a>
	(ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。)	

株式の状況

(2019年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 …… 720,000,000株
- 発行済株式の総数 …… 236,704,861株
- 株主数 …… 10,480名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
篠原 欣子	26,331,600	11.25
一般財団法人 篠原欣子記念財団	15,800,000	6.75
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	12,073,700	5.15
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	11,786,300	5.03
ケリーサービスジャパン 株式会社	9,106,800	3.89
JP MORGAN CHASE BANK 385632	6,978,193	2.98
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036	4,232,500	1.80
篠原 よしみ	4,228,400	1.80
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	3,748,900	1.60
株式会社三菱UFJ銀行	3,696,000	1.57

※持株比率は、発行済株式総数から自己株式を除いた株式数(234,025,780株)を基準に算出しております。  
※持株比率(%)は小数点第3位を切り捨てております。

会社概要

(2019年3月31日現在)

会社名 パーソルホールディングス株式会社  
 PERSOL HOLDINGS CO., LTD.  
 設立 2008年(平成20年)10月1日  
 本社事業所 東京都港区南青山1-15-5  
 本店所在地 東京都渋谷区代々木2-1-1  
 事業内容 労働者派遣事業・有料職業紹介事業などの事業を行うグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務  
 資本金 17,479百万円

役員一覧

(2019年3月31日現在)

名誉会長	篠原 欣子
代表取締役社長 CEO	水田 正道
取締役副社長 COO	高橋 広敏
取締役専務執行役員	和田 孝雄
取締役執行役員	小澤 稔弘
取締役執行役員	関 喜代司
社外取締役	玉越 良介
社外取締役	Peter W. Quigley
取締役	嶋崎 広司
社外取締役	進藤 直滋
社外取締役	西口 尚宏
社外取締役	榎本 知佐
執行役員	林 大介
執行役員	美濃 啓貴
執行役員	峯尾 太郎
執行役員	山崎 高之
執行役員	横道 浩一
執行役員	宮村 幹夫
執行役員	木村 和成
執行役員	高倉 敏之
執行役員	正木 慎二
執行役員	瀬野尾 裕

貸借対照表

(単位:億円)

	2018年 3月期末	2019年 3月期末	増減額
<b>資産</b>	4,023	3,708	△314
① 流動資産	2,305	2,098	△207
現金及び預金	896	690	△205
固定資産	1,717	1,609	△107
② 商標権・のれん	1,132	1,018	△114
<b>負債</b>	2,423	1,999	△424
① 流動負債	2,171	1,449	△721
1年内返済 予定の借入金	899	150	△748
① 固定負債	252	549	297
長期借入金	157	257	100
<b>純資産</b>	1,599	1,709	109
自己資本	1,455	1,555	100
資本金	174	174	0
資本剰余金	201	203	2
③ 利益剰余金	1,059	1,256	196
非支配株主持分	144	153	8

POINT 1

短期借入金について、一部を現金返済、残りを社債発行および長期借入金によりリファイナンス(長期化)

POINT 2

償却・為替換算による減少

POINT 3

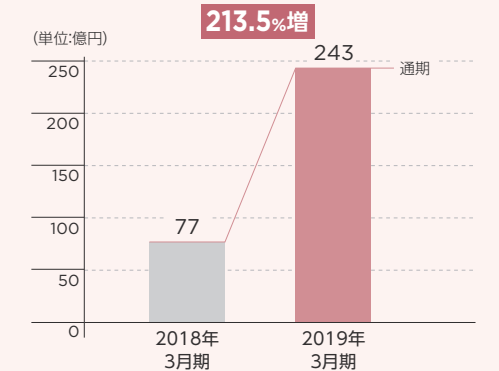
利益増による増加



インターネットでも詳細なIR情報を公開しています。ぜひご覧ください。  
 パーソルホールディングス ホームページ ▶ <https://www.persol-group.co.jp/>

親会社株主に帰属する当期純利益

2019年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益は、利益額の増加により、243億円(前年比213.5%増)となりました。



1株当たり配当金

2019年3月期の配当金は、基本方針を踏まえ1株当たり10円を予定しておりましたが、業績動向や財政状態等を総合的に勘案し、1株当たり5円増配し、15円と致します。

(単位:円)

	2018年3月期	2019年3月期
中間配当	9.00	10.00
期末配当	10.00	15.00